



国立病院機構宇都宮病院  
呼吸器内科・薬剤科

・本剤は、結核症や非結核性抗酸菌症の治療薬として投与されます。

・この際、頻度はまれですが視力障害が出現することがあるので、下記のような症状が出た場合には、直ちに担当医に連絡してください。

- ・霧視(かすんで見える)
- ・何となく見えにくい
- ・黒ずんで見える
- ・色調が変わって見える

など



・なお、本剤による視力障害は、

- ・高齢者で体重あたりの投与量が多い方
- ・腎機能が低下した方
- ・糖尿病がある方



などで発現しやすい傾向にあるとされていますが、  
「新聞を片目ずつ一定の距離で、毎日読む事により早期に発見できる」  
とされています。

・また本剤による視力障害は、「早期に発見し中止すれば、比較的短期間のうちに回復する」とされていますが、発見が遅れて高度に進行すると非可逆的になることがあるので、視力の異常に気づいた時はただちに担当医にご連絡ください。



よろしくお願い致します  
お大事にしてください

